

**開幕直前の夢洲万博会場を視察**

4月4日 万博テストランに参加。開幕直前の会場を視察しました。短時間の視察でしたが、トイレや休憩所の課題について確認、改善要望を行いました。

**ギャンブル依存症対策について語る**

5月25日 全国ギャンブル依存症家族の会大阪・ギャンブル依存症問題を考える会共催の「進めよう依存症対策！」集会にパネリストとして参加。各党の府議と大阪府の依存症対策の問題点について議論を交わしました。

**子どもたちと考える戦争と平和展**

8月9～12日 子どもたちと考える「戦争と平和」展 in 高槻・島本 2025 が開催されました。今年で 10 回目となる毎夏の取り組みです。毎年、学生インターンと共にスタッフとしても参加しています。

**おおさか環境と社会研究会を開催**

9月5日 宇都宮大学の松平尚也さんを講師にお招きして、第1回「おおさか環境と社会研究会」を開催しました。昨年来問題になっている米価格高騰問題から紐解く、私たちが考えるべき持続可能な農業、都市近郊農業について学びました。

出前 府政報告 受付中

今年も出前府政報告会を開催します。万博後の大阪の課題、副首都構想、議員定数削減の問題から、地域の様々な課題についてもお話しします。数名からでもお気軽にお問い合わせください。ののうえ愛がみなさまの所にお伺いします。

ののうえあい*1977年高槻生まれ

阿武野幼・小・中、三島高卒。関西外大短大卒、龍大法を経て、同志社大院で住民投票条例を研究。2003年より高槻市議4期連続当選。副議長、監査委員などを歴任。若者の政治参加、環境、交通政策、子育て支援や市民参加などに取り組む。脱原発、安保法制反対、大阪都構想反対運動など、平和・非戦・自治をめぐる市民運動にも積極的に参画。2019年より大阪府議会議員（現在2期目）。民主ネット大阪府議会議員団幹事長、警察危機管理常任委員会（2025年度）。現在議員活動と2児の育児、親の介護に奔走中。

発行

大阪府議会議員ののうえ愛事務所
〒569-0071

高槻市城北町1丁目14-28 1階

TEL 072-669-7790

FAX 072-669-7794

Mail info@nonoueai.net

Web www.nonoueai.net/



@nonoueai



@nonoueai

**インターンシップ募集**

ののうえ愛事務所では、インターンシップ生を随時募集しています。昨夏も2名の大学生が議会傍聴、議案調査、日常活動の同行や研究発表など、様々な活動を行いました。日頃あまり身近に感じる事のない政治の世界ですが、実際に府議会議員の活動を一緒に体験することで、自分たちが暮らす社会と政治との関係について新たな視点から見つめるきっかけになればと思います。将来議員を目指す方はもちろん、公務員や民間企業などを目指す方にとっても意義ある経験になると思います。

対象者 : 18歳以上の大学生、大学院生等
活動期間 : 期間、時間 いずれも応相談
活動内容 : 議会傍聴、資料作成、街頭演説、ポスティング、政務調査、市民要望ヒアリング等
募集定員 : 3名程度
交通費 : 実費支給

詳細はQRコードからお問い合わせ下さい。

**#ののあいスペース**

SNSのX(旧Twitter)のスペース機能を使って、不定期で20:45から15分程度、ののうえ愛が最新の大阪府政情報についてお話しします。ご視聴ください。

@nonoueai

**大阪府議会議員**

(高槻市・島本町)

ののうえ愛 News 2026 SPRING

NONOUEAI SPRING

**迷走する大阪府の“教育改革”**

大阪府立高校は、維新誕生以降毎年2から3校のペースで廃校になっています。これは、2012年に成立した大阪府立学校条例により3年連続で定員割れした学校は廃校の候補となるため、すでに合計20校近くが廃校となっています。

一方、2024年から私立高校の授業料無償化が段階的に始まり、2025年度入試では私学専願率が過去最高の32%となりました。

そんな中、2025年秋に大阪府立高校改革アクションプランが公表され、現在136校ある府立高校を104校まで減らす計画が示されました。このアクションプランは本当に大阪の高校教育の改革につながるのか、一般質問で取り上げました。



吉村知事率いる大阪維新の会は「教育改革」を推進していると主張しますが、その方向性には大いに問題があります。これまでも、華々しく導入された私立高校授業料無償化の一方で、府立高校の廃校が進み、また私学も授業料に上限が導入されることで、長期的に見れば質の高い教育を維持することが難しくなるのではないかという危惧があることをお伝えしてきました。(2面へ続く)

定数削減“身を切る改革”と言うから騒ぎ

2025年10月に自民維新“連立政権”が発足。連立の条件として衆議院の50議席削減が突如として提示されました。

一方、大阪府議会では夏ごろから次の統一自治体選挙に向けた定数削減の議論が始まっていました。府議会の定数は維新登場後10年で、109から79に。人口あたりの議員数が日本一少ないことが“改革”であると主張する維新の会主導で削減され続けています。

さて、今回も同じ提案理由で定数削減議論が始まりました。東京の人口は増え続けており、今のままの議員定数では東京の方が人口あたりの議員数が少なくなる、そこで、次の統一自治体選挙に向けてとにかく一でも二でも定数を減らす、という方針が維新により立てられたのです。

ところがこの府議会での議論の最中に高市維新連立政権が発足。国会で華々しく?!定数50削減を軸とした議論が始まると、大阪府議会の削減案が見劣りするとでも思ったのか、維新以外の全ての会派が方針を示す中、維新だけが具体的提案も示さず、12月議会最終日に開かれた議会改革検討協議会で、大阪府議会での議員定数削減議論は事実上棚上げとなったのです。

そもそも議会や議員とは何か、削減するとどう

いった影響があるのか、あるべき議会の姿は。それらを考えずメディアの見出しに踊る数字の“映え”だけを追求し続けた結果起こった空騒ぎです。

皆さんの中にも色々なご意見があると思います。国会で居眠りしている議員を見て、あんな議員ならいない、と思うこともあるでしょう。でも、だから数を減らそう、ではなく、だったら私が代わりにやる、と手を挙げられるのが民主主義のシステムです。安易な議員定数の削減で切られるのは私たちの意見です。

大阪府議会は議席数と選挙区定数を削りすぎました。この結果が大阪に何をもたらしたか、皆さんと共に考えていきたいと思っています。

議員定数削減って何かヘン!大阪府議会困ったことに
野々上・大阪府議に聞く



Check!!



大阪府議会の定数問題については、フリージャーナリスト幸田泉さんとみおつくし総研の川嶋広稔さんのYoutubeチャンネル「B+1」でお話しています。ぜひご覧ください。

公教育にもっと投資を のうえ愛の一般質問より

(1面からの続き)

私立授業料無償化の陰で遅れる公立高校の環境改善

もう一つの問題は、他の公共インフラ同様、府立高校が老朽化していることです。それに対して、大阪府の府立高校改革アクションプランでは、内装リニューアルを進めていくことを宣言しています。内装が重要ではないとは言いませんが、それだけではより根本的な問題を解決できません。校舎の建て替えには長い時間と費用がかかるだけに、長期的な展望に基づいて行われる必要がありますが、現在建て替え計画があるのは一校だけです。のうえ愛の質問では、狭隘な教室、古いままの水回り設備、ギガスクールに対応しきれない脆弱な IT インフラなどの問題が積み残されていることを指摘しました。

今年度、私の子どもも府立高校に進学しました。教育方針には期待していますが、手狭な教室にそろそろ体も大きくなった子どもたちが詰め込まれ、収納も十分でないために床の上に教科書を置いている様子には驚かされました。市町村が責任を持つ大阪府内の小中学校では少人数学級が相当に進んでおり、高槻ではすでに中学3年生までの35人以下学級が市費で完了していますので、子ども達にとっても40人がギチギチに詰め込まれる高校とのギャップは相当のものと思います。

また、近年はパソコンを使った授業は当たり前になっていますが、高槻ではすでに整備されている充電インフラが高校にないために毎日重いノートパソコンを持ち帰らなければいけないということも、なんとかすべき問題です。

アクションプランでは今の中学1年生が高校受験を迎える2028年度からの入試改革も計画されています。現在行われている府立高校共通の入試に加えて、各府立高校がそれぞれの独自の方針を示し、学力試験以外の評価点で入学選抜を行うこととなります。

12月10日一般質問



確かに、例えば工業高校で実技に対する適性を念頭に置いた入試を行えるといったことに関しては、一定の意味があり、それらを柔軟に行えることが全く無意味であるとは思いません。一方で、こういった試験をすべての高校に対して一律に課すといったことには疑問が残ります。第一に、試験を行う高校の負担を考える必要があります。現行の試験とは違った生徒を取れるような特色ある試験を行うには、それなりの手間がかかります。一方で、教員はその労働時間の長さなどで、不人気な就職先になっています。適切な支援なしに負担を増やすことには問題があります。

また、受験生にとっても負担が増えない形で行えるのでしょうか？いろいろな入試に対応するためには、早めに志望先を決めて対策をした人が有利になります。現在でも、英検を使った入試方法などがありますが、それを一般の公立中学校が十分にサポートできているとは言えない面があります。必然的に、塾などで手厚い支援を受けられる層が有利になるということになりかねません。あるいは、中学の先生がやらなければいけない業務が膨大になるかも知れません。

すでに99%が高校に進学しており、高校の義務教育化という議論もある時代です。むしろ「全員が高校に進学する」ことを前提に、ふるい落とすのではなく「それぞれの学力とニーズに応じて適切な高校を見つける手助けをする」ことが重要な時代になっています。

諸外国では、貧困層の子どもやさまざまなハンディキャップを抱える子どもこそが公立高校でサポートされるべきで、名門校というのは莫大な学費を要求する私学であるという構造が一般的です。一方、日本では保護者が教育に熱心であることに依存し、学習困難者などのサポートをむしろ私立が担ってきたという面があるわけです。定員割れした府立高校の廃止という方針は、この傾向を加速させているように思われますが、特色入試も同様に働くかもしれません。

府立高校は、平等でインクルーシブな中等教育を提供する社会的基盤です。そのための予算と人材は府の責任で手当する必要があります。

大阪府議会 令和7年11月定例会 本会議（一般質問）



一般質問では、大阪の府立高校問題の他に、万博後の大阪カジノ IR の現状について、大阪の公共交通、特に路線バスの維持に向けた取り組みについて、を取り上げました。詳細は Youtube で。

所属委員会について



10月6日警察危機管理常任委員会

今年度ののうえ愛は警察危機管理常任委員会に所属しています。大阪府警と大阪府の防災・危機管理関連予算を審議する委員会です。大阪府警の女性警察官の配置状況や女性の犯罪被害者支援策、レイシャルプロファイリング対策について。また、大阪府の防災備蓄物資のあり方と市町村との連携についてなど、質疑を行いました。詳しくは、大阪府議会の Youtube チャンネルでご覧いただけます。



大阪府議会
令和7年9月定例会
警察危機管理
常任委員会（質疑）



大阪府議会
令和7年11月定例会
警察危機管理
常任委員会（意見開陳）



YouTube

大阪の論点

知事の仕事と与党党首の仕事は両立出来るのか

2025年10月、高市自民党総裁誕生を受けて、自民党と日本維新の会の「連立」合意が成立。吉村大阪府知事が連立政党的党首として華々しく全国報道のテレビに出まくることになりました。この頃、大阪は府議会の会期真っ最中。府議会の進行と並行して永田町で連立政権の記者会見が行われ、それによって府議会の委員会時間が変更になったりといったことが生じていました。

全国47都道府県で「政党公認の知事」というのも実は吉村氏一人だけなのですが、これに政党党首という特殊事情も加わるわけです。そのため、メディアの報道なども府政課題に対して、知事としてのなのか一党の党首としてのなのか、区別が曖昧です。府議会も維新単独過半数の状態が続いており、このチェック機能が働いていません。

11月定例会では去年の倍の規模になる、総額432億円の国からの補正予算が審議されました。ところがその事業内容を見ると、これまで行われた緊急経済対策の焼き直しに終始しています。国が一人3000円とされる食糧支援分も大阪府では22歳以下のお米券に集約してしまい、全年齢には行き渡らないことになりました。今回から大阪府のデジタルクーポンシステムに府内基礎自治体が参画できる体制を構築することですが、この点に関して、市町村との調整もほとんど行われていません。

また前回同様、福祉施設職員へのギフトカード配布が行われますが、公立施設で働く福祉職員が除外されたままです。とりわけ、非常勤職員を含む会計年度任用職員の待遇は十分とは言えない中で、現場でご尽力いただいている職員に不公平感・不満感が生じる懸念を指摘してきましたが、これも解決されていません。

そもそも、11月21日の閣議決定で、そこから地方行政が計画を立案し、議会を通し、という日程の中で「可能な限り年内での予算化に向けた検討」という政府方針にも相当の無理があります。地方自治に精通している「与党党首」としての吉村知事が、そういうことを政府与党に対してきちんと伝えてくれるのであれば、知事と国政与党党首の二刀流も価値があるのかも知れませんが、今のところそういったことにはなっていません。

知事、与党党首、どちらも中途半端になるのであれば、どちらかを諦める必要があるのではないのでしょうか？